

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	イヤートレーニング(ET1)	担当教員名	小林 延江
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	2年次 前期
授業の到達目標	<p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符の混ざったリズムを聴き取れるように。</p> <p>《メロディー》C～Gまで(跳躍進行あり)を正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。</p> <p>《音程》1～8度までの音程を知る。</p> <p>《コード》メジャーコードとマイナーコードを聴き分ける。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。</p>		
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ファンデーション科目・ETの説明/音の歴史について、音楽について、モールス信号、効果音、周波数(教科書第1章～2章の内容)	
2	講義	4分音符4分休符導入 / リズム打ちを使つての書き取り/線紙を使つて音の高低判定(C～E・2度進行)	
3	講義	線紙を使つての書き取り/3線紙を使つて音の高低判定(C～E・3度の順次進行)	
4	講義	8分音符導入 / 5線を使つてC～Eまでの書き取り / 全音・半音と度数のみ	
5	講義	休符の多い書き取り問題 / 1・2・3・8度のみ	
6	講義	16分音符の導入 / 復習・暗記問題/1・2・3・8度のみ変化記号(#・b)が付いた場合	
7	講義	前回までの確認テスト振り返り	
8	講義	C～Eで跳躍進行/1～5と8度(4度、5度は#、bなし) トライトーン	
9	講義	8分休符+8分音符の導入 / C～Fまで(順次進行)/1～5と8度(4度、5度#、bあり)トライトーン	
10	講義	8分音符+16分音符リズムの導入 / C～Gまで(順次進行)/1～6と8度	
11	講義	C～Gまで(跳躍進行)/1～8度	
12	講義	1～8度 音程まとめ/Major, Minorの聞き分け/総復習	
13	講義	期末テスト前復習週、前回までの振り返り	
14	講義	期末確認テストと振り返り	
15	講義	講義内容のまとめと実践的なワークシヨック	
準備学習 時間外学習	教科書を読み使う用語の確認と譜面の確認		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	イヤートレーニング	
	参考書		
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に!こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	イヤートレーニング(ET2)	担当教員名	小林 延江
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	2年次 後期
授業の到達目標	<p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符、付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。《メロディー》C～Cまで(1オクターヴ/跳躍進行あり)《2声メロディー》Key: Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表わせるように。 《音程》1～8度までの音程の理解を深める。《コード》メジャーコードとマイナーコードの違いを瞬時に聴き分ける。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を身につけていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力も身につけていきます。</p>		
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	復習(C～Gまで) マイナースケールのメロディー視唱/復習(1～8度) 音程ドリル/Major, Minorの聞き分け	
2	講義	3連符の導入 / 復習(C～Gまで) Cマイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/C, G, Fの聞き分け	
3	講義	復習(C, G, Fコード付け導入・後付け)/C～A まで(臨時記号後付け)/マイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/Major, Minorの聞き分け	
4	講義	C～A まで(臨時記号後付け) /復習 音程ドリル	
5	講義	付点8分音符・16分音符の導入/(タイの導入・後付け)/C～B まで(臨時記号後付け)/復習 音程ドリル	
6	講義	中間確認テスト前復習・前回までの振り返り	
7	講義	中間確認テストと振り返り	
8	講義	テスト返却/リズム打ち6/8拍子導入/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/Major, Minorの聞き分け	
9	講義	リズム打ち6/8拍子/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/復習 音程ドリル	
10	講義	8分音符・16分音符の導入/リズム打ち6/8拍子 /Major, Minorの聞き分け	
11	講義	リズム打ち6/8拍子 /2声メロディー/復習 音程ドリル	
12	講義	総復習 (リズム打ち6/8拍子)/1オクターブ・2声メロディー	
13	講義	期末テスト前復習週、前回までの振り返り	
14	講義	期末確認テストと振り返り	
15	講義	講義内容のまとめと実践的なワークシット	
準備学習 時間外学習	教科書を読み使う用語の確認と譜面の確認		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	イヤートレーニング	
	参考書		
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	楽器メンテナンス(PRO TOOLS)	担当教員名	福岡直子
時間数	150	必修・選択	配当年次
		必修	教室
			501教室
授業の到達目標	Pro Tool sの基本操作をもとに、周辺機器のセットアップ、トラブルシューティング、データ管理のスキルアップ		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音楽制作における「 DAW」 。そのシステムで使用されるアプリケーションの一つである「 Pro Tool s」を中心に、付随 する周辺機器、関連アプリケーション、ファイル管理(マスターデータ、納品方法など) システム構築の概要を習得。		
実務経験： 2000年大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、M STA STUDI Oに2年勤務、2002年からアルケミースタジオに所属。 サウンドエンジニアとして様々なアーティスト のレコーディング、ミックス、マスタリングを手掛ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ファイル管理(階層構造の再確認)。マスター(オリジナル)データとバックアップデータについて学ぶ。	
2	演習	ハードウェアやI/O設定(仕組み、新規作成、設定のインポート/エクスポート)を学ぶ。	
3	演習	クロックリファレンスとクロックソース、同期を学ぶ。	
4	演習	初期設定(プラグインや各種設定)の構築を研究。	
5	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 1	
6	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 1	
7	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 2	
8	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 2	
9	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 3	
10	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 3	
11	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 4	
12	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 4	
13	演習	実技テスト、解答解説	
14	演習	筆記テスト、解答解説	
15	演習	後期総復習	
準備学習 時間外学習	授業や個人的にPro Tool sを使用して疑問に思ったことをメモ。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 実技試験 50% 2) 筆記試験 50%	
教材	教科書		
	参考書	音響設備マニュアルなど □ □	
学生への メッセージ	スキルをさらに磨いて、現場で活かせるよう身につけましょう		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクトB)		担当教員名	堤福男・松下俊樹
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 【1コマ目】チーム毎と個人の報告会、情報交換会を実施(スタッフ各自が1週間の発表をすることで、個々のコミュニケーションスキルを鍛え、就職面接などにも役立つ) 【2コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義。 【3コマ目】後期の目標であるイベント企画(7月29日)の課題に取り組みます 【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	TACプロジェクトの産学連携の授業内容に関して		
2	演習	スケジュール管理や報告のまとめ方についての説明、レクチャー		
3	演習	イベントの企画(7月29日)立案のレクチャー		
4	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションをレクチャー		
5	演習	イベントプロモーションやSNSの活用法を学ぶためのレクチャー		
6	演習	フライヤーの制作、デザインのためのレクチャー		
7	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
8	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー		
9	演習	樋口宗孝がん研究基金代表(柳澤様)特別講義		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	7月29日のイベントの準備を実施		
12	演習	後期のイベントの企画(10月25日)立案のレクチャー		
13	演習	9月6日のテレビ収録現場の準備やレクチャー		
14	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションを実施		
15	演習	イベント(10月25日)のプロモーションの実施		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント 現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。			

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクトB)		担当教員名	堤福男・松下俊樹
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルボさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義. 及び各イベント企画 【2コマ目】後期の目標であるイベント企画. 及びマネジメントの課題に取り組みます。 【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
2	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー		
3	演習	10月25日のイベントの準備を実施		
4	演習	10月25日のイベントの運営		
5	演習	10月25日のイベントの振り返り・総括		
6	演習	10月25日のイベントに関する学生によるプレゼンテーション		
7	演習	テレビ収録現場の準備やレクチャー		
8	演習	テレビ収録現場でのワークショップ		
9	演習	テレビ収録現場に関する振り返り		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(レコーディング)		
12	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ準備・制作)		
13	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ運営)		
14	演習	各マネジメントチームによる報告会		
15	演習	総括		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント 現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。また構築した関係を活かし、主体的に授業に取り組んでください。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。また、1年間の集大成にもなりますので今まで学んだことを存分に発揮してください。			

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	初見視奏(唱)(LMB)	担当教員名	小林 延江
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	コードについての理解を深めると共に、曲の中で実際どのようなコード進行が使われているか等、曲をアナライズしていく力とそれを実践で役立てていける力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に曲の中でどのように使われているのか等も紹介しながら講義し、ワークブックを用い繰り返し問題を解き練習しながら使い方を習得していく。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	メジャーダイアトニックコード(ダイアトニックコードについて・コードネーム、ディグリーネームを書けるようにする)	
2	講義	メジャーダイアトニックコードの各機能の意味を知る、主要和音・代理和音について	
3	講義	ケーデンス(終止形、ドミナントモーション、トゥーファイブ、セカンダリドミナント、偽終止について)	
4	講義	転回形の表記方法、ト音記号を用いた簡単なヴォイスング	
5	講義	ケーデンス(メジャー系)を実際に5線に書いてみる(保留をしながら)	
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習	
7	講義	前回までの確認テスト・振り返り	
8	講義	マイナーダイアトニックコードの仕組み(ナチュラルマイナーのみ)	
9	講義	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアトニック	
10	講義	マイナーダイアトニックコードが持つ機能について知る	
11	講義	マイナーキーにおけるケーデンスについて知る、ヴォイスング(マイナー系)	
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習	
13	講義	期末テスト前復習週、前回までの振り返り	
14	講義	期末確認テストと振り返り	
15	講義	講義内容のまとめと実践的なワークブック	
準備学習 時間外学習	教科書を読み使う用語の確認と譜面の確認		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	LMI・2で身につけた基礎知識・読譜力を活かしながら、更に実践に繋がるアレンジ力も身につけていけるようレベルアップ目指して頑張りましょう。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	初見視奏(唱)(LM)	担当教員名	小林 延江
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	LM3で身につけたコード進行のパターンを発展させたり、コードに対して使えるスケールを考えアレンジを加えていける力等、読譜力+作曲する際にも役立てていける実践力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に曲の中でどのように使われているのか定番コードパターンや手法等も紹介しながら講義し、ワークブックを用い繰り返し問題を解き練習しながら使い方を習得していく。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	ノンコードトーン(経過音、刺繍音、倚音、掛留音、先取音、逸音)	
2	講義	テンションの種類・コード別使用可能テンション	
3	講義	テンションリゾルブ(テンションの解決法・Omitの意味)	
4	講義	アベイラブルノートスケール(コードトーン・テンション・アポイドノートについて)スケールの使い方について	
5	講義	マイナーのアベイラブルの紹介・ドミナントスケール、その他のスケール	
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習	
7	講義	前回までの確認テスト・振り返り	
8	講義	メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る	
9	講義	クリシェ、パッシングの手法を学び、コードパターンを発展させる、定番コードパターン	
10	講義	転調のパターンを知り、実践する	
11	講義	楽譜を用い、総復習を行う	
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習を行う	
13	講義	期末テスト前復習週、前回までの振り返り	
14	講義	期末確認テストと振り返り	
15	講義	講義内容のまとめと実践的なワークブック	
準備学習 時間外学習	教科書を読み使う用語の確認と譜面の確認		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	LM1・2で身につけた基礎知識・読譜力を活かしながら、更に実践に繋がるアレンジ力も身につけていけるようレベルアップ目指して頑張りましょう。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	ヴォイストレーニング(ヴォイストレーニング)		担当教員名	桜田ヒロキ	
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期・後期	
曜日・時限		選択 I	教室	EN531	
授業の到達目標	<p>・声の発せられるメカニズムの理解 ・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化(トレーニング・メニューは別途お送りします) ・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す</p>				
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ハリウッド式ボイストレーニング(Vocalize Uで使われる発声理論)を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行う</p>				
【実務経験】 マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。アーティスト担当、ライブ帯同多数。					
回数	授業形態	内容			
1	演習	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバービューを見せる			
2	演習	トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解(別紙参照)			
3	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
4	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、生理学的な声帯の動きを理解する			
5	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
6	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、ビブラートに対する理解・エクササイズ			
7	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
8	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、ボイストレーニングにおける母音の考え方			
9	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
10	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、音階練習・音程の考え方			
11	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
12	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する			
13	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
14	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、semi-occludedエクササイズの音声学的な解説(リップバブル・ストローエクササイズなど)			
15	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			
準備学習 時間外学習	個人練習と授業の振り返り				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率を評価得点とし、優秀者には追加点			
教材	教科書				
	参考書	Singing for the stars (Seth Riggs), Vocalogy (Ingo Titze), Singing Success (Brett Manning), Ultimate Voice Training for singers (Billy Purnell)			
学生への メッセージ	発声法を学ぶだけでなく、音声学や生理学の観点からも声について学習し、自分で声をトレーニングできるようになる事を目指しましょう。理論までしっかり固めておけば、卒業後にトレーナーとして働く事も出来ますよ！				

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(DTM)	担当教員名	横野 康平
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める(不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる	
2	演習	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる	
3	演習	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる	
4	演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる	
5	演習	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる	
6	演習	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えられるようになる	
7	演習	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えられるようになる	
8	演習	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えられるようになる	
9	演習	SEについて学び楽曲を派手に聴かせられるようになる	
10	演習	サンプリングを習得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる	
11	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1(色々なサイドチェイン)	
12	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2(音色のレイヤー&mix)	
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業態度30% 楽曲クオリティ70%	
教材	教科書	データ又は動画	
	参考書	データ又は動画	
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問しに来てください。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(DTM)	担当教員名	横野 康平
単位時間	30(2単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める(不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介.Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。	
2	演習	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイデアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。	
3	演習	Maschineでベースラインの打ち込み。	
4	演習	Maschineでメロディーの打ち込み。	
5	演習	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。	
6	演習	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方	
7	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる	
8	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる	
9	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる	
10	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダマイズだけでフレーズを作ってみる。	
11	演習	Ableton Live内の"wabtable"の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。	
12	演習	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。	
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業態度30% 楽曲クオリティ70%	
教材	教科書	データ又は動画	
	参考書	データ又は動画	
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問しに来てください。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	番組企画制作(コミュニケーションベーシック)		担当教員名	北林 圭			
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 前期・後期			
曜日・時限		選択	教室	801			
授業の到達目標	<p>コースの垣根を越えて分け隔てなく繋がりを形成し、新たな環境に自分が置かれた時の対処法・コミュニケーション能力を培う。 前期終盤には後期へ向けて、自分自身の前期の振り返りと、後期の目標をクラス全員の前で発表できるようになる。</p>						
授業の内容	<p>産業カウンセラー4年、委託でOSMで3年間授業を担当。</p> <p>体感型ワークと自己を見つめる(自己受容)プリントワークを使用。 1対1での会話、1対多数での会話・主張を実践。人前で自分の考えや想いを伝える練習。 授業を通して、自分や周りのクラスメイトの新たな魅力を発見する。 ※学生の状況などで、予告なく授業内容を変更する場合がございます。</p> <p>【実務経験】産業カウンセラー4年、委託でOSMで3年間授業を担当。</p>						
回数	授業形態	内容					
1	演習	オリエンテーション/ファーストコミュニケーション実習・総当たりインタビュー					
2	演習	他者紹介・短時間でクラスメイトについて知る					
3	演習	傾聴・話の聞き方で印象の受け方・与え方を感じる(メラビアン法則)					
4	演習	目標設定・短期から長期の目標を掲げ、何が必要かを認識する					
5	演習	捉え方・自分の事柄の考え方、捉え方の傾向を知る					
6	演習	捉え方・自分の事柄の考え方、捉え方の傾向を知る					
7	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
8	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
9	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
10	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
11	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
12	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
13	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
14	演習	ミニプレゼンテーション 適切なフィードバック					
15	演習	後期の振り返りのプリント記入					
準備学習 時間外学習	プレゼンテーションの事前準備と原稿確認						
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技	80%	2. 筆記	10%	3. 課題	10%
教材	教科書						
	参考書						
学生への メッセージ	人間の悩みはほとんどが対人関係から生まれている言われています。得意・不得意はあると思いますが、切っても切れない部分ですので、皆で楽しく学び、ご自身の目標達成に生かしていきましょう！						

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	ステージライティング(LTベーシック)	担当教員名	株式会社ハート ス
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	照明機材 調光卓の基本的な操作 オペレート 技術の習得。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実務経験 株式会社ハート スより15年以上の教員が 舞台照明の基本的知識を講義・演習。 また 実地に基づき様々な機材を使用し照明実習を行う。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	照明の仕事について 授業内容説明 前期目標設定 機材説明	
2	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて	
3	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて	
4	演習	仕込みの基本説明 調光操作卓の基本説明 実習	
5	演習	仕込み図の説明 カラーフィルター取扱い 種類 仕込み図を読み解く	
6	演習	調光操作卓の操作説明 照明機材による 表現方法	
7	演習	シュート棒 脚立による シュート方法 実習	
8	演習	PINSPOT 操作実習	
9	演習	現場での様々なトラブルを想定 対処方法実習	
10	演習	調光操作卓の操作説明 サブマスター エフェクト実習	
11	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 1	
12	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 2	
13	演習	PINSPOT 操作実習 1	
14	演習	PINSPOT 操作実習 2	
15	演習	PINSPOT 操作実習 3	
準備学習 時間外学習	前回で行った操作を次の授業までに繰り返し行う		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 100% 授業に対する取り組み・理解力確認・総合評価60点以上合格	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	レコーディング実習(レコーディングディレクション)		担当教員名	吉川 豊
時間数	150	必修・選択	配当年次	2年次 前期・後期
曜日・時限		選択2	教室	301・403
授業の到達目標	現場での「動き」「考えかた」「コミュニケーション力」。基本となるエンジニア技術を活かし、応用し、制作者&クライアントの求める作品を作り上げるスキル。スタジオ業務に就いた際に重要とされる上記2点を到達目標とする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する基本となる技術を基に、よりプロのRECスタジオに近い実践授業を行う。アレンジ上での楽器の使い方を理解し、どう聴かせるか？聴かせ方。立体的な音の作り方。prot ool sが使われるようになり、エンジニアはより音楽的要素が求められるようになった。それをスピーディーに表現するためのprot ool sの使い方。相手が何を求めているかを理解する力。実践を通じて上記をテーマに授業を進行。</p> <p>【実務経験】 専門学校を卒業後、大手レコーディングスタジオ2社を経た後、制作事務所勤務。現在Studi oMechに籍を置く。31年間ジャンルを問わず様々なアーティストのレコーディングに参加。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズムREC(pre pro)完成に近い音にするためのマイキングやエフェクターの使い方		
2	演習	リズムREC(本録) preproでやった事をより精度を上げる。エンジニアから提案の仕方		
3	演習	ダビング(ギターetc)各楽器のマイキング。聴かせ方。完成に近いモニターバランス		
4	演習	ダビング(vocal) 録音レベルの取り方。ダイナミックレンジをしっかりとる		
5	演習	リズムREC(pre pro)ミュージシャンとのコミュニケーションをとり、求めるサウンドに近づける		
6	演習	リズムREC(pre pro)ダビング時の事を考慮してのトラッキング方法		
7	演習	ダビング(ギターetc)楽器、アンプの特性を理解し、MIX想定でのトラッキング		
8	演習	ダビング(vocal) マイキング。声に適したマイク選び。コンプのかけ方		
9	演習	MIX マスターレベルの基本的な取り方。エフェクトの処理。		
10	演習	リズムREC(prepro&本録)生徒のみで録音。コミュニケーションをとり何をしたいのか理解する		
11	演習	ダビング(ギターetc、vocal)生徒のみで録音。スケジュール通りに終われる為に何を考えどう行動するか		
12	演習	MIX 音圧の取り方。MIXにおけるダイナミクスの取り方		
13	演習	1日で完パケまで終える。全体の流れを把握し自分がどう行動するべきか		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	常に空いてる時間はprot ool sを触る。 基本M Xは宿題にするので時間をかけやりたい事ができるように自主学習を。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技試験(100%)		
教材	教科書	普段聴いてるCD SSL 取説		
	参考書			
学生への メッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えなければならない。難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。自分の好きなCDを靴に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。家で聞き慣れたるCDをスタジオの良いモニター環境で空いてる時間は常に聴いてください			

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	PA実習(PAワークショップ)	担当教員名	上林 隆
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択2	教室
授業の到達目標	LS-1		
授業の内容	<p>リーダーシップを発揮し、計画性を持って、技術的、人間的に尊敬されるプロフェッショナルなサウンドエンジニアを目指す。そして周り（照明スタッフ、アーティストなど）に気配りをしながらもコミュニケーションをとれること。それから十分に安全面にお互い（全員）で注意して仕事をする事。</p> <p>2週～3週かけてLS-1の説明をしてからスタートします。</p> <p>アーティストをブッキングされた後にプランを考え、機材を決定した後、使用方法などをレクチャーします。コラボレーションなので朝の打ち合わせから仕込み～チューニング～SC～リハーサル～本番～撤去 というタイムスケジュールに沿って授業を進めます。チューニングの前後に照明チームのシュートが入ります。ただし、単純に本番まで行うのではなく、その週の議題を折り込み進めます。</p> <p>出席者が多数の場合は2週に1度はM X卓を操作していただきたい。</p>		
【実務経験】	MSIにてコンサートオペレーターとして活躍。現在はフリーランスとして関西のイベント・コンサートを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	LS-1 / コラボレーション授業について、仕込み～バラシetc 年間目標立て Vo.1	
2	演習	LS-1 / コラボレーション授業について、仕込み～バラシetc 年間目標立て Vo.2	
3	演習	メインシステム(Vertec)についてレベル設定とチューニング(Profile) Vo.1	
4	演習	メインシステム(Vertec)についてレベル設定とチューニング(Profile) Vo.2	
5	演習	モニターシステム、レベル設定とチューニング(M7, 5DH, PS15) Vo.1	
6	演習	モニターシステム、レベル設定とチューニング(M7, 5DH, PS15) Vo.2	
7	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.1	
8	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.2	
9	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.3	
10	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.1	
11	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.2	
12	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.3	
13	演習	デジタル / Vertec Lake Smaart の理解 Vo.1	
14	演習	デジタル / Vertec Lake Smaart の理解 Vo.2	
15	演習	前期の総括 プランニングした事柄をタイムスケジュールに沿って行う	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	試験による評価100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	音響における基礎からの授業です。とにかく出席してください！そして機材を操作しましょう！全てはそこから始まります。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	作曲編曲(作曲技法)	担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択3	教室
授業の到達目標	803		
初級～中級コードワークの習得。自作曲への応用。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
曲作りにダイレクトに活用、応用できるポピュラー音楽理論の習得。 (Minor Diatonic Chord Progression ~ Non Diatonic Chords ~ Tension) 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	応用理論の学習①	
2	演習	応用理論の学習②	
3	演習	応用理論の学習③	
4	演習	応用理論の学習④	
5	演習	応用理論の学習⑤	
6	演習	応用理論の学習⑥	
7	演習	応用理論の学習⑦	
8	演習	応用理論の学習⑧	
9	演習	応用理論の学習⑨	
10	演習	応用理論の学習⑩	
11	演習	応用理論の学習⑪	
12	演習	後期内容の復習⑫	
13	演習	後期内容についてのレポート作成	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	自曲のコードワークの見直し。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	2、筆記試験 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	自曲に様々なバリエーションを加えたり、自分の生み出したメロディーを更に輝かせる為に必要な知識になります。 真剣に取り組んで下さい。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	楽器レッスン(楽器ファンダメンタル)	担当教員名	元岡 衛
単位数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	EN332
授業の到達目標	予習、復習の習慣化。アドリブソロの組み立て。リズムの違いを理解する。様々なジャンルに対応出来る奏法を習得する。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するの自身のメソッドを用いて進めて行く。		
【実務経験】4歳からクラシックピアノを習い始める。1989年に大阪スクールオブミュージック専門学校インストラクター科を卒業後、ピアノ講師を始める。2002年から現在に至るまでキーボード講師を続けながら関西を中心にライブ活動を行う。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Chordの理解力等レベルチェック	
2	演習	8 beat Ballad奏法	
3	演習	12/8beat Ballad奏法	
4	演習	Diatonic Chordの説明	
5	演習	II m7-V7-I Δ7の説明	
6	演習	II m7-V7-I Δ7のメソッド	
7	演習	II m7-V7-I Δ7	
8	演習	Blues 8 beat 奏法	
9	演習	Blues 8 beat 奏法	
10	演習	Blues Shuffl e 奏法	
11	演習	Blues Shuffl e 奏法	
12	演習	Bossanova Snrba 奏法	
13	演習	Bossanova Snrba 奏法	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	復習として授業で習った内容を翌週も弾けるようにしておく。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	様々なスタイルの奏法を身に付け、Sol o Pi anoで表現出来る技術を身に付けましょう。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	映像制作(PV制作)	担当教員名	林 耐治	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択3	教室	A503
授業の到達目標	1年次に習得した知識、技術、感性の深化。より優れた映像作品の完成を目指す。実習を中心に、作品を作りながら、あるいは作品の鑑賞を通じて、適宜、撮影、編集、演出の指導をしていく。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>毎週、課題を与え映像作品を作ってもらう。また、公募作品にも積極的に参加し、受賞を狙う。PV制作を初回の授業より始める。基本的には5限目がトレーニング。6限目がPV制作とする。(状況によって入れ替わる可能性あり) 演出能力を高めてもらう。具体的には女性モデルを数人起用し、各モデルのオリジナルPVを制作。「かわいい」「きれい」「カッコいい」女性を撮影し、編集でCGなどを加えながら仕上げる。ミュージックビデオの制作は後期に予定しているが、学生の意欲と実力いかんでは前期も実施する可能性あり。</p> <p>実務経験 : ドラマ、CM イベント やコンサート 動画、ドキュメンタリー、ライブ中継などに携わる</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	1年次後期に作成したPVの検証。課題を与えて即興作品作り。		
2	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング		
3	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編1)※チーム編成、内容決定		
4	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編2)※絵コンテ制作		
5	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
6	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
7	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
8	演習	モデルPVの制作		
9	演習	モデルPVの制作		
10	演習	モデルPVの制作		
11	演習	モデルPVの制作		
12	演習	公募用映像の制作		
13	演習	公募用映像の制作		
14	演習	公募用映像の制作		
15	演習	公募用映像の制作		
準備学習 時間外学習	制作した映像を見て、詳細におよぶ振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 授業に対する取り組み姿勢 50% 2. 授業内で制作する作品および提出課題の出来 50%		
教材	教科書	講師より適時、プリントを配布		
	参考書	月刊誌 ビデオサロン (玄光社より毎月 発行)		
学生への メッセージ	1年次に私の授業を受講してくれた学生は、着実に力をつけてくれています。その力をさらに伸ばすため、制作機会をさらに増やし、自身で「気づく」授業を展開していきます。忙しいですが、とにかく作る楽しみに満ちた時間を過ごしていきます。			

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	放送(FM番組制作)	担当教員名	藤田祐司
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	メディアセンター・ワン・スタジオ		
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画書作成の基礎知識と作成能力の育成。プレゼンテーションテクニックの習得 Web配信番組制作を通して、TV番組の組み立て方と基礎知識を習得 カメラワーク、編集テクニックなど機材の基本操作術と、編集ソフト等の基礎的な使用方法の習得 チームでの制作実習を通して、各役割の仕事内容とチームプレイの重要性を習得 		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ニッポン放送からスカパー局長を経て、番組・音楽制作の現場30年以上の実践の中で体感してきたこの業界は、近年、大きな変革期を向かえています。特に今後増々需要が高まるWeb配信はこの業界の大きなアイテムです。この授業では実際に番組制作現場で使われている映像中継システムを使い、学生たちの企画する番組を全世界に向けて配信します。発想をどのように企画し具現化していくか、そしてそれらを技術力でどう表現するか…。多くの人々に感動を届けるTVマンの世界を理論と感性で実践し、チームでのコミュニケーション能力を身に付けながら、これからの番組制作現場で必要とされる人材の育成を目指します。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	1年間の授業内容と目標 / 自己紹介 / TV番組制作の世界(各役割紹介)	
2	演習	発想を具現化し、実現するためのツール【企画書の作成基礎】	
3	演習	実際の生放送の番組制作現場を見学【役割とチームプレイ】	
4	演習	機材に触れよう1(放送カメラを使って撮影の基礎を学ぶ)	
5	演習	機材に触れよう2(編集機材を使って編集の基礎を学ぶ)	
6	演習	ショートムービーの制作に挑戦！(チーム分けと「企画書」の作成)	
7	演習	↓ (企画書に基づいた「撮影」)	
8	演習	↓ (「編集」によって作品の骨格を完成)	
9	演習	↓ (作品チェックと修正編集で作品完成)	
10	演習	↓ (完成作品の「試写」により、問題点の整理と心構えの育成)	
11	演習	番組制作の役割と適合性を知る(ディレクター、カメラマン、編集マンの役割)	
12	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写	
13	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写	
14	演習	後期まとめ(後期のWeb配信番組制作に向けて)レポート課題	
15	演習	後期まとめ(後期のWeb配信番組制作に向けて)レポート課題	
準備学習 時間外学習	日常の中で「サプライズ」と「感動」の仕掛けを想像し、番組制作において最重要である「演出」のテクニックを考察すること。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技 50% 2) 制作課題 50%	
教材	教科書	実際にTV番組で使用した企画書・台本	
	参考書	実際に放送されたTV番組	
学生への メッセージ	<p>TV番組の制作は「アイデアを生むチカラ」と「発想を具現化しカタチにする経験」が重要です。この授業で、「実践し体験し実感」しましょう。</p> <p>番組制作の裏話や視聴率を取るための秘話は必見！番組制作のすべてを経験してきた現役プロデューサーだからできる実践型の授業です。さあ皆さん、共に考え、共に創りましょう。皆さんの未来のために！！</p>		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	ステージパフォーマンス(スタートアンサンブル)	担当教員名	FIRE
単位数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択3	教室
授業の到達目標	単に曲を弾くだけでなく、合奏としての意味を理解し人前で演奏する姿勢を学んで貰います。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 現役でメジャーで活躍するミュージシャンが世界に通用するパフォーマンスを指導します。主に海外のバンドの曲を元にパフォーマンスして貰い、単に演奏だけでなくステージに上がる責任、重みを感じて貰います。またエンターテイメントとしての音楽も実践して学んで貰います。曲のコピーだけでなくグルーヴの大切さ、ベースの役割を学びます。		
【実務経験】大阪スクールオブミュージック専門学校、アメリカのMusicians Instituteを卒業。その後東京にてメジャーデビュー。スタジオミュージシャンとしても20年以上メジャーアーティストと共に多くのHIT作品を手がける。ライブパフォーマンスも5大ドームや世界ツアーも数多く経験する。音楽指導も積極的に行っており既に多くのプロミュージシャンを育てている。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	課題曲の解説と実技	
2	演習	課題曲の解説と実技	
3	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践	
4	演習	課題曲の解説と実技	
5	演習	課題曲の解説と実技	
6	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践	
7	演習	課題曲の解説と実技	
8	演習	課題曲の解説と実技	
9	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践	
10	演習	課題曲の解説と実技	
11	演習	課題曲の解説と実技	
12	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践	
13	演習	総括	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	課題曲のコピー。演奏だけでなく歌詞の内容、バンドの歴史、ライブパフォーマンス等も調べておく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	人前で演奏するとは何かを学んで感じて欲しいです。		

キャリアプログラム科 シラバス

科目名	進級制作		担当教員名	水島 秀樹
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	LS1
授業の到達目標	コンサート、ライブ、イベント全般通じてアーティスト、ゲストが楽しめる空間の構築。ノークレームを目指す			
授業の内容	イベントコンセプトの共有等ミーティングから、制作についての実務を行い、当日までのスケジュールを作成する。コンセプト、テーマを理解し、クライアントの要望に応えられる内容を制作し、他学科の学生と共有していく。			
【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	各演目リーダー顔合わせ		
3	演習	第1回テクニカル、運営ミーティング		
4	演習	リハーサル見学&各演目とのコンセプトミーティング		
5	演習	テクニカルリハーサル		
6	演習	第2回テクニカル、運営ミーティング		
7	演習	クオリティチェックサポート		
8	演習	演出ミーティング		
9	演習	演出ミーティング&テクニカルミーティング		
10	演習	全体リハーサル		
11	演習	最終テクニカル、運営ミーティング		
12	演習	全体リハーサル		
13	演習	現場全体リハーサル		
14	演習	本番		
15	演習	振り返り		
準備学習 時間外学習	多くのアーティストのライブ映像をみておく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	1年間頑張った成果をたくさんの方に見てもらい、出演者からたくさんの「ありがとう」をもらいましょう！最高の感動を伝えられるように、最後まであきらめずに頑張りましょう！			